

2003年 コールアベリア ドイツ演奏旅行記

9/3 (水)

片倉町 東日本銀行前集合 朝から、暑かった。

am 8時 バスで、一路成田へ、道路は、空いていて、早く着いた。

13時発 JAL 407便

ドイツ時間 17時30分 フランクフルト到着

白神さんが、迎えに来てくださいました。バスで、ボーフムへ。いつのまにかアウトバーン（高速道路）に入った。通行料金は取らないので料金所はない。のどかな田園地帯が広がる。北海道に似ている。夜8時を過ぎても明るい。ようやく暗くなってきたが、道路にライトの設備はない。真っ暗な中、車は走っている。また、ところどころ、休むところがあるが、日本のようなサービスエリアとはほど遠い。一度、トイレ休憩あり。22時到着。

ホテル ホリディ・イン・ボーフム

お風呂は、みんなが一度に使ったせいか、最初の人はよかったです、2人目からはお湯が良く出なかつたという話です。ポットが有りお湯を沸かせる。ティーバッグを持っていくとよかったです。朝食は種類も多くよかったです。



9/4 (木) 練習 Uバーンに乗り、コンサート

会場まで、夜は、白神さん宅まで、バスに乗って行きました。

9/5 (金) 本番

9/6 (土)

10時 ボーフム市内見学

朝市、お花がきれい。お祭りあり。賑わいに驚く。この

街も第二次世界大戦の戦禍を受けていた（教会の塔）市庁

舎前の大鐘は、見ものだ。昔別の公園から、送られたとか。カーレンの店に立ち寄る。

18時車に分乗して古城レストランでミニコンサート。マイヤーさんの車は、日産製だつ



たと思う。長い足を縮めて乗っていました。ベンツがいっぱい走っています。でも大きな車種ではない。割合みんな小さい。



ゲーテ街道をめぐって

9／7 ボーフム →アイゼナハ→ ワイマール

アイゼナハ

塔の下をくぐって、広場に入る。その前に見えたヴァハルトブルク城はワーグナーのタンホイザーにある歌合戦のモデルになったところだ。バッハの家を見学。中は、木の床で、ミシミシ音がした。古楽器演奏を聞く。

ルターの家（木組み）を眺める。

聖ゲオルグ教会の裏のラテン語学校で、ルターは学んでいる今も男子校だそうだ。



ワイマール

ワイマールと聞いてワイマール憲法を思い出したが、中味は何も覚えていない。名前を知っているに過ぎない。受験勉強の弊害ですね。（1919年ドイツ共和国の誕生で、その時つくられた民主的な憲法）

旧東ドイツに入った。明らかに違いがあるのがわかる。傷んでいてもそのままの家が結構ある。

ヒルトンホテル、そんなに大きなホテルではないが、きれいだった。しかしホテルの周りはなにもない。いかにも東ドイツという感じ。木がとても大きい。（ポプラ）



9 / 8

ワイマール市内観光

ゲーテとシラーの像見学。ゲーテの家は、黄色いおしゃれな家。ギンコウツリー（銀杏の木）は、日本からきたそうな。緑豊かな公園を散策。ゲーテとシラーのお墓もある。歴史的墓地の散策。ロシアから輿入れた公妃のためのロシア正教会もある。ゲーテは、資金の続く限り、避寒のためイタリアに行ったとか。孫娘の墓が、立派だ。彼は、次々と身内を亡くしていったという。

ドレスデンへ、移動。

第2次世界大戦の空襲で市のほとんどが焼けてしまったそうだ。まだ、聖母教会などは、再建中だ。（2005年復興）

市内観光。エルベ川を渡り、レジデンツ城、ツヴィンガー宮殿、君主の行列、ゼンパーオペラ等を見学。エルベ川の眺めはすばらしい。ホテルで、夕食の後、

ゼンパーオペラで「ファルスタッフ」を鑑賞。すでに座っている人の先に自分の席があるときドイツの方は、もう一度立って道をつくってくれる。イタリア語の歌で、ドイツ語の字幕が出ますがもちろんわかりません。あらすじを知らないと全然駄目です。でも歌は迫力がありとてもすばらしかった。先生と松本さんは着物、みなさんもおしゃれしてます。松本さんは10分で着物を着られます。私も少しお手伝い。

ホテル ウエスティンバルビュードレスデンは、新市街にあり、とてもきれいなホテル。



9／9 雨 ドレスデン→ライプチヒ

ライプチヒ中央駅は、ヨーロッパ最大級の大きなすばらしい駅。ここで、トイレ休憩。町の中心マルクト、市庁舎、聖トーマス教会見学、ここはバッハが演奏したところ。ステンドグラスが、すばらしい。おおきなパイプオルガンがあった。日本の教会との規模の違いを見せつけられる。メンデルスゾーンハウスにも立ち寄るがお休み。昼食は、地下へ入っていくレストランで。

滝廉太郎記念碑の前で、「荒城の月」「花」を歌う。そばのマンションで、聞いていてくれる人有り。拍手をもらう。



ヴォルリツツ王宮庭園（テッサウ郊外）ユネスコの世界遺産

ここで、大きなゴンドラに乗りました。17人乗った。これを船頭さん一人で、漕ぎながらガイドもする。白神さん、大村さん曰く、訛りがすごくて、わかりにくいとのこと。私たちは、いい気持ちで、いっぱい歌を歌っておりました。この年ヨーロッパは、例年になく暑い夏で、湖の水も少ないそうです。そのうち、船頭さんが汗をかきながら、必死に漕ぎだったので、どうしたのかしらと思っていたら、とうとう座礁してしまいました。「ローレライ」を歌ったのが、いけなかったかも。もう一方の舟にひっぱってもらいました。

こちらは、先導さんのドイツ語をドローさんと英語に直し案内してくれたそうです。
ここもトイレが大変でした。



ポツダムへ（あの「ポツダム宣言」のポツダムです。）
ホテル ドリントサンスーシ

ここは、新しくとても綺麗でした。バスローブ有り。バスルームは、濡れた物を乾かすヒーターもある。

9／10 ライプチヒ→ポツダム

新宮殿

フンボルト大学の男子学生によるガイドでしたが、日本語がよくわからない。ガイド料は、ちゃんと取ったらしい。この中の広間のようなところで、歌を歌いました。もともとそういうのに使われていたようです。すばらしくよく響きました。貝殻と石で装飾された洞窟の間、色大理石が華やかな大理石の間がある。（細工は、少々おそまつだが）

サンスーシ宮殿

フリードリッヒ大王の造営による。彼は家族より、犬とともに滞在し、最期は、犬とともにここに埋葬されている。駐車場から、少し歩く。入口には、中世の服装をした人がフルートを吹いている。我々日本人に気が付くと日本の曲を演奏し始めました。「さくらさくら」だったと思う。商売上手。

すばらしい宮殿。昼食は、庭園内のレストランで。

遊覧船で、ツエツイーリエンホーフ宮殿（ポツダム宣言の舞台となった所）などを見ながら、ヴァンジーへ。（1時間ほど）デッキは、寒かった。

ベルリン到着

ホテル エクセルシオール・ベルリン 大きな通りに面している。

夕食のあとオペラ鑑賞。「トスカ」



9／11 ベルリン市内観光

カイザーヴィルヘルム記念教会、国会議事堂（超近代的ビル）、ペルガモン博物館のゼウス大祭殿(ヘレニズムの傑作、BC300)イシュタールの門（古代バビロニア、BC1800～1500）は、見事だった。レプリカが多いが。行列道路の再現も当時を彷彿させる。エジプト館では、あの有名なネフェレティティの胸像をみた。ベルリンの壁

夜は、オペラ鑑賞「魔笛」夜の女王の声は、すばらしかった。客席に延長された花道風舞台が、おもしろかった。

9／12

ベルリン自由行動

KDWで、お買い物 日本人向お土産物を売っているお店に連れて行って貰う「きむら」

昼は、運転手さん紹介のレストランへ、大ジョッキで、乾杯

テーゲル空港→フランクフルト

飛行機が遅れて到着し、乗り換え便まで、走る。お土産買う時間があまりなかった。

JAL409便 で、成田へ

